

---

# 岐阜県立岐阜北高等学校

校長 鈴木 健  
学校住所 岐阜市則武清水 1841-11 電話 058-231-6628

---

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜北高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和5年1月27日(金) 13:30~15:30
- 3 開催場所 岐阜北高等学校会議室
- 4 参加者

会長	小林 月子	岐阜大学名誉教授
副会長	小森 崇稔	PTA会長
委員	澤井 隆彰	人材育成コンサルタント
	高橋 進	則武自治会連合会顧問
	西川 光美	R3年度PTA会長
	古田菜穂子	同窓会代表(北斗会顧問)
	山下 真史	岐阜青年会議所専務理事
学校側	鈴木 健	校長
	新沢 幸美	事務部長
	土田 修三	教頭
	西野 公司	教務主任
	坪内 有美子	進路指導部長
	若狭 幹大	生徒指導部部長
	山田 雄太	特別活動部長
	山田 知史	図書部長
	河合 恵哉	総務渉外部長
	高木 一輝	カリキュラムデザイン部長

### 5 会議の概要(協議事項)

- (1) 授業参観
- (2) 令和4年度自己評価・学校関係者評価について

意見1: 先日(1/19)実施された探究発表会では、生徒は生き生きと発表しており、内容や質も向上していた。清流プラザのような大きなすばらしいホールで発表できるという機会は、

今後の人生の糧につながるのではないかと。最優秀賞を受賞したグループは「小学校の学習方法」についての探究であったがアイデアがよく、実際に小学校まで出向いて調査をするという姿勢がよい。学校のバックアップがあつてのことだと思うが、今後も続けていってほしい。

意見2：学校として指定校推薦の在り方や位置付けについて、早い段階から保護者や生徒に向けて情報を発信してほしい。

⇒指定校推薦は不確定な要素が強く、その年にどの指定校が来るかその年にならないと分からないところがあるが、教室にも掲示し、更に今年度はYouTubeなどで情報を発信し、1, 2年生の保護者に対しても視聴可能としたが、今後できるだけ分かり易く伝えていきたい。

意見3：県のいじめの対策委員として、様々な事例を伺っているが、本校の生徒は利己的な生徒に対して適当に距離を置くなど上手に対応しており、問題にはなっていない。実際にはどのような対応をしているのか。

⇒いじめ防止等対策委員会を年2回行っている。本校生徒に対し過大な評価を頂き恐縮だが、稚拙さが散見される生徒がいることも事実である。生徒のトラブルは、入り口段階で広く網にかけて、迅速かつ組織的な対応をしていきたい。また、来年度は「命の理由」を年間のテーマにして、講演会やLHRを計画している。

意見4：交通事故にはどのようなものがあるのか。

⇒ながらスマホによる事故が問題になったりしているが、25件中の24件は自転車通学時による朝の事故で、主に自転車同士がすれ違う際の接触事故である。残りの1件は歩行者の事故であり、ながらスマホによるものはない。

意見5：環境防災の取組はよい。大雨のときに部室付近が浸水していたが、学校付近のハザードマップはどうなっているのか。

⇒教育財務課長に来て見ていただいたが、堤防の段差により、住宅地に流れないようにしてあるとのことである。また、岐阜大学の防災専門の先生を講師に招き、本校から自宅までの危険を予測し、典型的なリスクの動画を視聴するなど、生徒に注意喚起を促している。

意見6：私自身、茨城県に在住しているときに被災していることもあり、特に避難訓練などマンネリ化しないように実施してほしい。また、アレルギーによる命の危険がないように学校でも対応をしっかりとしてほしい。

⇒アレルギー対応についても安心・安全に心掛けて、いつでも対応できるようエビペンの使用方法など職員研修を毎年行っている。

意見7：ボランティアとして本校の教員が自治会の行事に参加していただき嬉しい。これからも連携をとってほしい。来年度は清掃活動などにも協働的な取組ができればよい。また、地区でも防災訓練をしているが、高校生の参加が少ない。訓練は休日に実施しているので、各地域でもできるだけ高校生にも参加するように啓発してほしい。

⇒避難訓練でグラウンドに集合時の講評では、高校生は被災した人を救助する役割を果たすべき立場にもあることを伝えている。そうした観点からも地域での訓練への参加を呼び掛けたい。

意見8：評価Cのついた項目の多くはコロナが原因のものであり、減少してきている。教職員は

日々大変忙しいと思われ、いつ休んでいるのか不安である。教職員の活躍が生徒の良き手本となる。教職員が健康であってこそその生徒や学校なので、心身の健康に十分に気を付けていただきたい。

意見9：日本にとどまらず世界を見据えて、生徒自身がどのように社会に貢献できるかを考えると同時に、多様な見方や考え方を身に付け、北高で自分の人生設計をしていってほしい。

## 6 会議のまとめ

- ・今回は授業を参観していただいたのち、令和4年度自己評価の結果を中心に報告し、学校関係者評価として本校の教育活動に対して、ご意見やご提言をいただいた。
- ・予定した時刻を超え本校に寄せる多くの期待や要望を直接拝聴することができ、充実した会議となった。いただいたご意見やご提言は、来年度の学校経営計画の策定に反映させたい。